

「(仮称)墨田区スポーツ推進計画」(案)の策定の考え方について

## 1 計画策定の趣旨等

### (1) 計画策定の趣旨

区はこれまで、スポーツ推進について、墨田区基本計画に大綱を定め、「墨田区地域力育成・支援計画」の中で具体的な施策の展開を図り、スポーツを推進してきたところであるが、今後は、東京2020大会レガシーの発展、健康増進、共生社会の実現及びSDGsの推進等の社会状況の変化を踏まえ、総合的に区のスポーツ施策を推進していく必要があるため、新たにスポーツ施策の具体的な方向性を定める計画を策定する。

### (2) 計画の位置付け

スポーツ基本法の規定に基づく「地方スポーツ推進計画」と位置付け、国の「第3期スポーツ基本計画」及び都の「東京都スポーツ推進総合計画」を踏まえた内容とする。

また、墨田区基本計画を上位計画とし、当該計画にある「区民が自由にスポーツを楽しむ機会をつくる」ことを目指してスポーツの推進を図る基本理念及び施策を具体的に定めた計画とするとともに、「すみだ健康づくり総合計画」、「墨田区障害福祉総合計画」、「墨田区高齢者福祉総合計画・第8期介護保険事業計画」、「すみだ教育指針」、「墨田区子ども・子育て支援総合計画」、「墨田区公園マスタープラン」等の区の各種関連計画と連動した計画とする。

### (3) 計画期間

墨田区基本計画の改定時期を踏まえ、令和6年度から令和12年度までの7か年計画とする。

## 2 計画の検討

当該計画の策定に当たり、学識経験者、区内スポーツ団体関係者、公募区民、教育関係者で構成する墨田区スポーツ推進計画策定委員会を組織して内容を検討する。

## 3 計画策定の方向性

別添「(仮称)墨田区スポーツ推進計画(案)の策定の方向性」を参照

## 4 策定に向けた今後のスケジュール(予定)

令和5年10月～11月	墨田区スポーツ推進計画策定委員会での検討(計画案の策定)
12月	区議会地域産業都市委員会へ報告 パブリックコメントの実施(令和6年1月まで)
令和6年2月～3月	墨田区スポーツ推進計画策定委員会での検討(計画の策定) 区議会地域産業都市委員会へ報告(最終報告)

(仮称) 墨田区スポーツ推進計画(案)の策定の方向性

1. 区の現状

【第27回墨田区住民意識調査結果(令和4年10月)】

「週に一回以上・スポーツをしている」成人区民の割合 63.0%  
 「いつでもスポーツを楽しむことができる環境が整備されている」と思う区民の割合 51.7%

【令和4年度 墨田区スポーツ・運動に関するアンケート調査結果】

本区でスポーツを盛んにするために重要なことは「きっかけづくり」「場所や施設の整備」との回答が多数  
 スポーツ・運動を行う上での支障は「時間がない・きっかけがない」が51.3%と約半数  
 障害のある方のスポーツ実施状況には二極化の傾向がみられ、実施層と非実施層の差が顕著

2. 基本理念

「誰もがスポーツを楽しみ、  
 スポーツでつながるまち すみだ」

【理念の考え方】スポーツを「する・みる・ささえる」のうち、自分の興味・関心に合った観点でスポーツに関われる機会を提供するとともに、国が新たに示した「つくる／はぐくむ」「あつまり、ともに、つながる」「誰もがアクセスできる」という視点を踏まえ、子どもから高齢者まで、障がいのある人もない人も、運動が得意な人も苦手な人も、「マイスポーツ( )」を見つけ、気軽にスポーツに親しみ、楽しむことで、それぞれのスポーツライフを確立し、誰もが生涯にわたって心身の健康を保ち、つながりを持ち、いきいきと暮らせるまちづくりを進める。  
 マイスーツとは...自分の興味・関心・適性に合ったスポーツのこと。

3. スポーツ推進に係る課題と計画全体の体系(案)

課題(令和4年度実施のアンケート結果等から)	基本目標	施策の方向
「学齢期の非実施層」はその後も非実施率が比較的高い傾向にある 20~50代の支障は「時間がない・きっかけがない」が多数 60代以上では、支障が「特にない」層が多く、意向そのものの低さが課題 本格的にスポーツに取り組む人のための環境づくりも必要 スポーツが盛んになるために「場所や施設の整備」が大切との声が多数 多様な主体に対応できる環境が必要	<b>誰もがスポーツに親しみ、楽しめる環境の整備</b> 誰もが生涯にわたり、自分の興味・関心・適性にあわせて、 スポーツに親しみ、楽しむことができる環境を整えます。	子どものスポーツ推進 働き盛り・子育て世代のスポーツ推進 高齢者のスポーツ推進 競技力の向上 区民のニーズを踏まえた、スポーツ施設の適正かつ安心・安全な管理運営
障害がある方の直近1年間の非実施率は約2割と、その他区民に比べて高い 障害がある20~50代では、「時間がない・きっかけがない」ことが支障 障害がある30代以下では「どこで何ができるかわからない」も支障 パラスーツの体験の有無については、「ない」が9割超、障害のある方でも約7割は「ない」	<b>障害の有無に関わらずスポーツを楽しめる環境づくり</b> 障害の有無に関わらず誰もがスポーツに親しむことができる機会を提供します。	障害者がスポーツを楽しめる機会の充実 障害者がスポーツを楽しめる施設環境の充実 障害者のスポーツ活動を支える人材の育成 パラ競技等の普及・啓発と共生社会の推進
スポーツを支える各種活動団体においては、担い手の確保と高齢化が課題 各種の方面で担い手の資質向上が重要(障害者スポーツ指導、スポーツ事故を防ぐ体制、スポーツインテグリティ(体罰・ハラスメント防止)など) スポーツを支える活動に関心はあっても活動に結び付いていない場合がある 部活動の地域移行が求められ、地域の様々な主体との連携が必要	<b>スポーツを支える人・団体が活躍できる場づくり</b> スポーツを支える人・団体が継続的に安心して活動できる機会を提供します。	スポーツ指導者の育成・発掘 地域のスポーツ関係団体との連携 すみだスポーツボランティアの育成・活躍できる場づくり
様々な社会課題の解決につなげるため、スポーツを通じた地域活性化が必要 東京2020大会のレガシー継承やSDGsなどの新たな社会課題への対応 無関心層も含めた幅広い層へのスポーツ参画の促進が必要	<b>「すみだ」のスポーツ資源を通じた地域交流の促進</b> 墨田区にあるスポーツ資源を活用し、地域のつながりを育み、誰もがスポーツに親しみ、楽しむことができる環境を目指します。	地域のにぎわいを生むイベントの実施 ホームタウンスポーツチーム等との連携 都市間のスポーツ交流